

第34回北とぴあ若手落語家競演会 大賞受賞！ 雷門音助さん インタビュー

2023年9月9日（土）北とぴあつつじホールにて、「第34回北とぴあ若手落語家競演会」が開催されました。出演された六名がそれぞれに個性的な高座を披露。観客投票の結果、雷門音助さんが北とぴあ大賞に選ばれました。

まずは、北とぴあ大賞を受賞された率直な感想をお聞かせください。競演会の表彰式でも言いましたが、こういった賞をいただくのが初めての経験でして、壇上では単純にどうしていいか分からなかったですね。本当に嬉しかったです。観てくださったお客様が自分に票を入れてくれたということですから、本当にありがたいと思っています。

なぜ今回の演目（加賀の千代）をお選びになったのですか。

元々甚兵衛さんの出てくる話が好きで、限られた時間（※競演会は一人の持ち時間15分）の中で『加賀の千代』を選びました。自分の中で今すごくしっくり来ているネタです。演じていて自分の中でカッチリと定まって変わらないネタがある一方、この演目は演じるたびに自分の中で変化があって、演じていて楽しいと感じるネタなので選びました。

大賞受賞を一番に報告したい方はどなたですか。

家族に報告したいというのはもちろんですが、この噺を教わった雷門小助六兄さんに報告したい……でもその前に何よりもまず師匠ですね。師匠とこの噺を教えてくださいました兄弟子に報告したいと思います。

出演者の皆様6名が勢ぞろいされた楽屋の雰囲気はいかがでしたか。

本当に和気あいあいとした感じで…もちろん皆さんこれが競演会だということは頭の片隅で気にはなっているのですが、自分の出番が終わった後はまたにぎやかに、いい雰囲気です。変にピンと空気が張り詰めることもなかったです。その点は皆さんと話していて楽しかったですね。

副賞（10万円）の使い道は？

『加賀の千代』という年の瀬の噺をしましたので、来年のお餅をたくさん買います！

最後に、今後どのような落語家を目指していきますか。

引き出しの多い噺家になりたいです。面白いのはもちろんのこと、やっぱり何遍でも聴きたくなるような噺をしたいなと思いますね。皆さんに愛していただけるといいなと思います。



▲左から奨励賞の朝之助さん、大賞の音助さん。



▲演目「加賀の千代」は年の瀬のやりくり算段に頭を抱える甚兵衛夫妻の滑稽なやり取りを描く。

第34回北とぴあ若手落語家競演会 2023年9月9日（土）14時開演
【出演】三遊亭遊子、三遊亭ふう丈、春風亭昇吾、春風亭朝之助、雷門音助、柳家圭花（口演順）
【ゲスト】三遊亭小遊三 【司会】サンキュータツオ（米粒写経）